指針第２号様式

地　球　温　暖　化　対　策　実　施　状　況　書

１　地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者（届出者）の名称	独立行政法人国立病院機構東名古屋病院
地球温暖化対策事業者（届出者）の住所	愛知県名古屋市名東区梅森坂五丁目101番地
工場等の名称	独立行政法人国立病院機構東名古屋病院
工場等の所在地	愛知県名古屋市名東区梅森坂五丁目101番地
業種	医療、福祉
業務部門における建築物の主たる用途	病院・医療関連施設
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	診療
計画期間	令和3年4月1日　～　令和6年3月31日

２　地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和4年10月21日　～　令和5年1月19日		
公表方法	○	掲示閲覧	（場所）　院内掲示板
		ホームページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-801-1151		

指針第２号様式

３　地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

（１）地球温暖化対策の推進に関する方針

当院は地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し、事業活動のあらゆる分野を通じて、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

１．持続的な環境改善をはかります。
２．省エネルギー・省資源への更新を推進します。
３．空調・照明などの運転管理を徹底し、エネルギー使用量の削減に努めます。

（２）地球温暖化対策の推進体制

幹部会議

・病院の運営全般を審議（地球温暖化対策事項を審議）

・構成員：院長（議長）、副院長、統括診療部長、臨床研究部長、内科系診療部長、リハビリテーション部長（併）第一呼吸器内科医長、薬剤部長、看護部長、事務部長、副看護部長、企画課長、管理課長、経営企画室長、教育主事（オブザーバー）診療放射線技師長、臨床検査技師長、栄養管理室長、総括療法士長

管理会議、診療会議

・院内の経営管理や診療方針等、研究、教育及びその他管理・診療に関する必要事項を審議及び報告

・構成員：院長、副院長、統括診療部長、臨床研究部長、内科系診療部長、リハビリテーション部長（併）、薬剤部長、看護部長、事務部長、全診療科医長、副看護部長、企画課長、管理課長、経営企画室長、教育主事（２）、診療放射線技師長、臨床検査技師長、栄養管理室長、統括療法士長、理学療法士長、作業療法士長、教育担当看護師長、医療安全管理係長、地域医療連携係長、看護師長（全員）、業務班長、庶務班長、専門職、経営企画係長、医療相談係長、主任児童指導員

指針第２号様式

４　温室効果ガスの排出の状況

計画期間　１　年度目（令和　３　年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,243	t-CO_2
温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）①を除く	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO_2
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO_2
	④メタン		t-CO_2
	⑤一酸化二窒素		t-CO_2
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO_2
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO_2
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO_2
	⑨三ふっ化窒素		t-CO_2
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO_2
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		2,243	t-CO_2

５　温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（１）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量

項　　目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和　2　年度		令和　5　年度		令和　3　年度		令和　4　年度		令和　5　年度	
温室効果ガス総排出量	2,298	t-CO_2	2,229	t-CO_2	2,243	t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2
削減率（対 基準年度）			3.0	%	2.4	%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項　　目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和　2　年度		令和　5　年度		令和　3　年度		令和　4　年度		令和　5　年度	
原単位あたりの排出量										
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（２）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

目標である、3%の温室効果ガスの総排出量の削減には届いていないが、前年度に比べ一定量の温室効果ガスの削減は達成できている。
目標に達しなかった主な理由としては、夏場の削減量と比較して冬場の削減量が少なかったことから、２０２２年２月の寒波のため暖房を前年度と比較して多く回さざるをえなかったことが要因として考えられる。

備考１　温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
備考２　温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
備考３　原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
備考４　温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

指針第２号様式

６　温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

（１）自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理	エネルギー使用量の把握・計測・記録・分析	エネルギー使用量を表にとりまとめ、会議にて周知する。	管理診療会議でエネルギーの使用状況を表にして周知している。
省エネルギー・省資源の推進	冷暖房のタイムスケジュールの徹底、温度管理 老朽化し、エネルギー効率が悪い器具等の更新を検討	冷暖房の稼働時期を明確にし、職員に周知徹底する。 エネルギー効率の高い器具等へ更新する。	ガスによる冷暖房から電気のみによる冷暖房に切替を行った。 毎年、暖房の時期は周知を実施している。

指針第２号様式

（２）再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア　計画期間　1　　年度目（令和　3　年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区　分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電　力		t-CO_2
熱		t-CO_2

（３）環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間　1　年度目（令和　3　年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO_2
		t-CO_2
		t-CO_2
		t-CO_2

（４）みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO_2

（５）その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

（６）「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況